

2026年7月

日本教育制度学会会員 各位

日本教育制度学会会長 清水 一彦
第33回大会準備委員長 吉田 武大

日本教育制度学会第33回大会のご案内

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る11月7日（土）、8日（日）の両日、日本教育制度学会第33回大会を関西国際大学にて開催することになりました。つきましては、下記のとおり大会日程をご案内いたします。

開催方式については、通常通りの対面開催となります。プログラムは、自由研究発表を1日目の午後、課題別セッションは2日目の午前に設定しております。また、公開シンポジウムは、「改めて大学教育の質保証制度を問う」と題し、これまでの学会の成果とこれからの課題について会員の皆様とともに探求する機会にしたいと考えております。

会員各位におかれましては、日頃の研究成果をお持ち寄りいただき、教育制度研究の交流と更なる発展を図る機会として頂きたく存じます。

会員の皆様のご協力により充実した大会になりますよう、大会準備委員会一同、心より願っております。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

敬具

記

I. 日程

■ 第1日 11月7日（土）

12:30～ 受付
13:30～16:30 自由研究発表
16:40～17:10 総会
17:30～19:30 懇親会

■ 第2日 11月8日（日）

9:00～ 受付
9:30～11:30 課題別セッション
11:30～13:00 休憩
公開シンポ打ち合わせ
13:00～16:00 公開シンポジウム

II. 大会会場

関西国際大学尼崎キャンパス

兵庫県尼崎市潮江1-3-23

III. 参加費

大会参加費 正会員／臨時会員 3000円 懇親会費 正会員／臨時会員 4000円

IV. 発表等の申込について

(1) 自由研究発表

自由研究発表を募集します。発表は本学会員に限ります。ふるってお申し込みください。

- ① 発表時間：個人研究・共同研究ともに40分（発表20分、質疑応答15分、指定討論5分）。
- ② 申込方法：「自由研究発表申込用紙」（学会ホームページ <https://www.jseso.org/news/> からダウンロード）し、各事項をご記入の上、Eメールにて大会準備委員会にお申し込みください。メールの件名は「自由研究発表申込（氏名・所属）」でお願いします。（送信先：jseso.2026@gmail.com）
- ③ 指定討論者：発表者は、指定討論者の内諾を得てお申し込みください。指定討論者を決めかねる場合は、学会事務局が依頼します。申込用紙にその旨を書き添えてください。
- ④ 申込締め切り：**8月29日（土）必着**
- ⑤ 発表申込留意事項：
 - ・発表者は、事前に指定討論者の方と連絡をとり、発表用資料（レジュメ等）に目を通していただくよう段取りをお願いします。
 - ・万一、やむを得ない理由により発表を取りやめる場合は、速やかに大会準備委員会までご連絡ください。なお、発表取りやめになった場合も、次の発表を繰り上げることはいたしません。

(2) 課題別セッション

本学会は、会員の研究活動の発展に寄与するために、教育制度に関する最先端の研究課題について討議する課題別セッションを設けています。申し込みは原則として、課題担当理事のみとなっています。

- ① 申込方法：「課題別セッション申込用紙」（学会ホームページ <https://www.jseso.org/news/> からダウンロード）し、各事項をご記入の上、Eメールにて大会準備委員会にお申し込みください。メールの件名は「課題別セッション申込（氏名・所属）」でお願いします。（送信先：jseso.2026@gmail.com）
- ② 申込締め切り：**8月29日（土）必着**

(3) 共通事項

- ① 発表用資料について：
 - ・30部程度ご用意ください（会場でのコピーはできません）。当日ご持参いただき、各会場の係にお渡しください。大会事務局への事前郵送は受け付けておりません。ご了承ください。
- ② PowerPointなどによる資料の投影について：
 - ・プロジェクターをご利用の場合は、コンピュータをご持参ください。各会場には、プロジェクター、スクリーン、HDMIを装備したケーブルを用意します。必要に応じてHDMIに接続可能な変換アダプタなどをご持参ください。

V. 公開シンポジウム

改めて大学教育の質保証制度を問う

わが国の大学において公的な質保証システムとしての認証評価制度が導入されてから約20年が経過した。この間、大学の多様性に配慮しつつ、大学評価基準に適合していることを確認する適格認定としての性格を維持しながら認証評価制度が展開してきた。

一方、各大学においては、自らの責任で自学の諸活動について点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、これによってその質を自ら保証するという、内部質保証の仕組みの整備も進展してきている。

こうしたなかで現在、認証評価制度の見直しが進められている。現行の認証評価制度をめぐっては、評価作業の負担や内部質保証との連動が十分ではないなどといった批判が出されていることも踏まえ、いわゆる「評価のための評価」から脱却し、質保証と負担軽減のバランスを考慮した制度改革が検討されている。具体的には、単に評価基準に対する適合・不適合を判定するのではなく、在学中にどれくらい力を伸ばすことができたのかなどを含む教育の質を数段階で評価することが構想されているという。

このような見直しは、高校生やその保護者等に対するインパクトを有するものと考えられる。少子化の急速な進行などを背景として大学の淘汰が指摘されている状況下において、入学者の確保が喫緊の課題である大学、とりわけ私立大学にとっては、認証評価の結果如何が入学者数に影響を及ぼす可能性は少なくないのではないだろうか。

本シンポジウムでは、こうした近年のわが国の大学における質保証制度改革をめぐる流れを把握しながら、大学教育における質保証制度の充実に向けた改善の意義と課題を明らかにしていくこととする。本シンポジウムでは、高等教育に関わる3人の研究者から、以下のようなタイトルで発表していただき、参加会員との議論を深めていきたい。

<発表タイトル(仮)と登壇者> 各30分

1. 関西国際大学における質保証の実践事例

藤木 清(関西国際大学副学長)

*初年次教育や大学評価など、先進的な教育改革に取り組んでいる大学において、質保証に関連する実務に従事してきた当事者から紹介してもらう。

2. 高等教育の質保証に関する研究の動向と課題

山田 礼子(桜美林大学特任教授)

*高等教育における質保証に関する研究に従事してきた当事者から質保証をめぐる研究の動向と課題を論じてもらう。

3. 大学における質保証制度のさらなる充実に向けて

清水 一彦(松本大学学長)

*長期にわたって中教審大学分科会メンバーとして大学教育改革の政策に関わってきた立場から提言してもらう。

<司会者>

沖 清豪(早稲田大学教授)

*国際比較視点から高等教育の在り方を追究してきた経験を踏まえ、全体をまとめてもらう。

各登壇者には、ご発表内容に基づきながら「教育制度学研究の成果と課題」についてのそれぞれの見解を述べていただきます。その上で、フロアーとの質疑応答を重ねることを通じて、会員の皆様と上記「成果と課題」の再確認を果たしたいと考えております。

VI. 参加申し込み方法等

大会への参加申し込み方法は、後日、大会プログラム送付の際にお知らせいたします。

VII. 会場までのアクセス、宿泊と交通手段

大会参加のための交通機関及び宿泊につきましては、会員各自でお手配ください。宿泊につきましては、大阪駅周辺のホテルが会場までのアクセスに便利です。宿泊施設の数に限りがありますので、お早めにご予約ください。

会場の関西国際大学尼崎キャンパスの最寄り駅は、JR「尼崎」駅です。

- 1) JR「新大阪」駅から JR 東海道線にて JR「尼崎」駅まで約 11 分です。JR「尼崎駅」から関西国際大学まで徒歩で約 5 分です。
- 2) 「大阪国際空港」からは空港リムジンバスを利用した場合、JR「大阪」駅まで約 30 分です。JR「大阪」駅から JR「尼崎」駅まで約 5 分です。

関西国際大学へのアクセスについてはこちらを参照下さい。

https://www.kuins.ac.jp/about/campus_guide/amagasaki.html

VIII. 申し込み及び問い合わせ先

〒661-0976 尼崎市潮江 1-3-23 関西国際大学 教育学部 教育福祉学科 吉田武大研究室
日本教育制度学会 第 33 回大会準備委員会
電子メール：jseso.2026@gmail.com

※ ご連絡は可能な限り電子メールでお願いします。